

安全データシート(SDS)
Aquarius® FISH Probes

2019年11月作成(第1版)

1. 化学物質等の名称および会社情報

製品の名称 Aquarius® FISH Probes
会社名 株式会社理研ジェネシス
住所 東京都品川区大崎一丁目2番2号
アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8階
電話番号 03-5759-6042
FAX 番号 03-5759-6043

2. 危険有害性の要約

(1) Probes

GHS 分類

健康有害性 該当成分：ホルムアミド

	GHS 分類	EU CLP 規則コード
皮膚腐食性/刺激性	区分 2	H315
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A	H319
生殖毒性	区分 1B	H360

その他の有害性：情報なし

GHS ラベル要素

絵表示



GHS07



GHS08

注意喚起語 危険

危険有害性情報

EU CLP 規則コード	危険有害性情報
H315	皮膚刺激
H319	強い眼刺激
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ

注意書き

安全対策

EU CLP 規則コード	危険有害性情報
P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P280	保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。
P302+P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308+P313	暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当を受けること。
P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P501	内容物、容器を各自自治体などの廃棄物に関する規定に従って医療用廃棄物あるいは産業廃棄物として危険物廃棄集積所に廃棄すること。

(2) DAPI

GHS 分類

分類できない

GHS ラベル要素

なし

危険有害性情報

情報なし

労働安全衛生上の規則に従って取り扱うならば、知られている限り特有なリスクは存在しない。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分

混合物（2種類以上の液体から構成される混合物）

(1) Probes

化学名	CAS 番号
プローブ	—
ホルムアミド	75-12-7
デキストラン硫酸ナトリウム	9011-18-1
塩化ナトリウム	7647-14-5

(2) DAPI

化学名	CAS 番号
4', 6'-ジアミジノ-2-フェニルインドール二塩酸塩	28718-90-3
蛍光染色用封入剤（退色防止剤を含む）	—
グリセロール	56-81-5

4. 応急措置

(1) Probes

全般	暴露がある場合、医師の診断、手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすくする。
皮膚に付いた場合	多量の水で洗い流す。汚染された衣服を脱ぐ。皮膚に刺激がある場合は医師の診断、手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	気分が悪い場合は医師の診断、手当てを受ける。

(2) DAPI

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすくする。
皮膚に付いた場合	多量の水で洗い流す。
眼に入った場合	用心のため水で洗う。
飲み込んだ場合	気分が悪い場合は医師の診断、手当てを受ける。

5. 火災時の措置

(1) Probes

消火剤	水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
特有の危険有害性	有毒蒸気発生の可能性はある。

消火活動時の装備 空気呼吸器や保護衣などの適切な保護具を装着せずに消火活動を行わないこと。

(2) DAPI

消火剤 水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
特有の危険有害性 有毒蒸気発生の可能性がある。
消火を行う者の保護 空気呼吸器や保護衣などの適切な保護具を装着せずに消火活動を行わないこと。

6. 漏出時の措置

(1) Probes

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

適切な保護具を着用した関係者以外の立入りを禁ずる。適切な保護具を着用せずに作業しないこと。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。上下水道に混入した場合は規制当局に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出した液体は吸着剤を用いて回収する。上下水道に混入した場合は規制当局に通報する。漏出物や吸着剤は適切な指定場所に廃棄する。

(2) DAPI

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

汚染された区域を換気する。適切な保護具を着用せずに作業しないこと。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出した液体は吸着剤を用いて回収する。漏出物や吸着剤は適切な指定場所に廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

(1) Probes

取扱い

作業区域の換気を十分に確保すること。使用前に取扱説明書等入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。保護具を着用すること。皮膚や眼への付着を避ける。作業着を私服から隔離し、別々に洗濯する。汚染された衣

保管 服は洗濯する。本製品使用時は飲食及び喫煙をしてはならない。使用後は常に手を洗うこと。
使用しない時は、施錠できる部屋で、密閉容器に-20℃、遮光して保管する。

(2) DAPI

取扱い 作業区域の換気を十分に保つこと。保護具を着用すること。
本製品使用時は飲食及び喫煙をしてはならない。使用後は常に手を洗うこと。
保管 使用しない時は、施錠できる部屋で、密閉容器に-20℃、遮光して保管する。

8. 曝露防止および保護措置

(1) Probes

成分	管理濃度	許容濃度	
		産業衛生学会:2016年	ACGIH:2011年
ホルムアミド	設定されていない	設定されていない	TLV-TWA 10ppm(皮膚)

設備対策 作業区域の換気を十分に確保すること。

保護具

手の保護具 保護手袋
 眼の保護具 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 保護衣
 呼吸器の保護具 呼吸器保護具

(2) DAPI

設備対策 作業区域の換気を十分に確保すること。

保護具

手の保護具 保護手袋
 眼の保護具 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 保護衣
 呼吸器の保護具 換気が不十分な場合には適切な呼吸器保護具

9. 物理的および化学的性質

(1) Probes

物理的状态	液体
色	製品による
臭い	無臭
融点	非該当
引火点	154 °C
引火性(固体、気体)	非該当
その他の物理的・化学的性質	情報なし

(2) DAPI

物理的状态	液体
色	紫色
臭い	無臭
融点	非該当
沸点	290 °C
引火点	176 °C
引火性(固体、気体)	非該当
その他の物理的・化学的性質	情報なし

10. 安定性および反応性

(1) Probes

反応性	通常の使用、保存、輸送条件下で反応性はない。
化学的安定性	通常条件下で安定である。
危険有害反応可能性	通常の使用条件下で危険反応性は知られていない。
避けるべき条件	推奨の保存、取扱い条件下で避けるべき条件はない。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	通常の使用、保存条件下で危険有害な分解生成物は生成しない。

(2) DAPI

反応性	通常の使用、保存、輸送条件下で反応性はない。
化学的安定性	通常条件下で安定である。
危険有害反応可能性	通常の使用条件下で危険反応性は知られていない。
避けるべき条件	推奨の保存、取扱い条件下で避けるべき条件はない。

混触危険物質 情報なし
 危険有害な分解生成物 通常の保存、使用条件下で危険有害な分解生成物は生成しない。

11. 有害性情報

(1) Probes

急性毒性

分類できない

成分	CAS 番号	LD ₅₀ (ラット ; 経口)	LD ₅₀ (ラット ; 皮膚)	LD ₅₀ (ウサギ ; 皮膚)
ホルムアミド	75-12-7	> 5000 mg/kg	> 5000 mg/kg	> 5000 mg/kg
デキストラン硫酸 ナトリウム	9011-18-1	20600 mg/kg	—	—
塩化ナトリウム	7647-14-5	3000 mg/kg	—	> 10000 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激性あり

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

重篤な眼刺激性あり

呼吸器感作性又は皮膚感作性

分類できない

生殖細胞変異原性

分類できない

発がん性

分類できない

生殖毒性

生殖力あるいは胎児への影響の可能性

特定標的臓器毒性 (単回曝露)

分類できない

特定標的臓器毒性 (反復曝露)

分類できない

吸入有害性

分類できない

(2) DAPI

急性毒性

分類されない

成分	CAS 番号	LD ₅₀ (ラット ; 経口)	LD ₅₀ (ラット ; 吸入)
グリセロール	56-81-5	27200 mg/kg	> 2.75 mg/L/4 h

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

分類できない

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

分類できない

呼吸器感作性又は皮膚感作性

分類できない

生殖細胞変異原性

分類できない

発がん性

分類できない

生殖毒性

分類できない

特定標的臓器毒性（単回曝露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復曝露）	分類できない
吸入有害性	分類できない

12. 環境影響情報

(1) Probes

生態毒性 本製品は水生生物に対して有害とは考えられず、環境に対する長期の有害作用を引き起こすことも考えられない。

成分	CAS 番号	魚毒性 LC ₅₀	甲殻類 EC ₅₀	藻類 EC ₅₀
ホルムアミド	75-12-7	4600 mg/L (96 h ; コイ)	> 500 mg/L (48 h ; ミジンコ)	> 500 mg/L (72 h)
塩化ナトリウム	7647-14-5	5840 mg/L (96 h ; ブルギル)	—	2430 mg/L (120 h)

残留性・分解性

成分	CAS 番号	残留性・分解性
ホルムアミド	75-12-7	生分解性は良い。土壤中で生分解する。空气中で光分解を起こす。BOD (% of ThOD) : 0
デキストラン硫酸 ナトリウム	9011-18-1	水中での生分解性：情報なし
塩化ナトリウム	7647-14-5	生分解性：情報なし BOD、COD、ThOD：非該当

生体蓄積性

成分	CAS 番号	生体蓄積性
ホルムアミド	75-12-7	生体蓄積性：非該当 オクタノール／水分配係数：-1.6~-0.82
デキストラン硫酸 ナトリウム	9011-18-1	生体蓄積性：情報なし
塩化ナトリウム	7647-14-5	生体蓄積性：低い (Log Kow < 4) オクタノール／水分配係数：-3.0

土壌中の移動性

成分	CAS 番号	土壌中の移動性
ホルムアミド	75-12-7	表面張力：0.058 N/m

PBT 及び vPvB 評価結果

成 分	CAS 番号	PBT 及び vPvB 評価結果
ホルムアミド	75-12-7	REACH 規則附属書 XIII の PBT 及び vPvB の基準に該当しない。

(2) DAPI

生態毒性

本製品は水生生物に対して有害とは考えられず、環境に対する長期の有害作用を引き起こすことも考えられない。

成 分	CAS 番号	魚毒性 LC ₅₀	甲殻類 EC ₅₀	藻類 EC ₅₀
グリセロール	56-81-5	54000 mg/L (96 h ; ニジマス)	> 10000 mg/L (24 h ; オオシロコ)	> 10000 mg/L (8 days ; セネテスマス)

残留性・分解性

成 分	CAS 番号	残留性・分解性
グリセロール	56-81-5	水中での生分解性は非常に良い。 BOD : 0.87 g O ₂ /g COD : 1.16 g O ₂ /g ThOD : 1.217 g O ₂ /g BOD (% of ThOD) : 0.71

生体蓄積性

成 分	CAS 番号	生体蓄積性
グリセロール	56-81-5	生体蓄積性：非該当 オクタノール／水分配係数：-1.75

土壌中の移動性

成 分	CAS 番号	土壌中の移動性
グリセロール	56-81-5	表面張力：0.0634 N/m (20 °C ; 1000 g/L)

PBT 及び vPvB 評価結果

成 分	CAS 番号	PBT 及び vPvB 評価結果
グリセロール	56-81-5	情報なし

13. 廃棄上の注意

(1) Probes

廃棄物処理方法 本製品及び容器は許可を受けた処理業者の仕分け指示に従って廃棄する。

廃棄上の注意 環境への排出を避けること。

(2) DAPI

廃棄物処理方法 本製品及び容器は許可を受けた処理業者の仕分け指示に従って廃棄する。

廃棄上の注意 環境への排出を避けること。

14. 輸送上の注意

(1) Probes

国内規制

陸上規制 特段の規制なし

海上規制 特段の規制なし

航空規制 特段の規制なし

国連番号 非該当

国連分類 非該当

品名 非該当

海洋汚染物質 非該当

(2) DAPI

国内規制

陸上規制 特段の規制なし

海上規制 特段の規制なし

航空規制 特段の規制なし

国連番号 非該当

国連分類 非該当

品名 非該当

海洋汚染物質 非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法：名称等を通知すべき有害物

（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）

（政令番号 第 547 号）

消防法：第 4 類引火性液体、第三石油類水溶性液体

（法第 2 条第 7 項危険物別表第 1）

16. その他の情報

【参考資料】

- 1) Aquarius® FISH Probes Safety Data Sheet
- 2) DAPI Counterstain Safety Data Sheet

-
- ◆ 本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂されることがあります。
 - ◆ 記載内容の内、含有量、物理化学的性質等の値は保証値ではありません。
 - ◆ 注意事項等については、通常の手扱いを対象としたものです。特殊な手扱いの場合については十分な安全対策を実施の上でご利用ください。